

早稲田大学 商学部 日本史 講評

〔総合分析〕

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	60分
特徴・その他	本学部では正誤問題が非常に多く、しかも解答を2つ選ばせる問題では完答しないと得点にならない。しかし、決して難しすぎて解けないわけではない。9割正解も十分可能である。もしこれを難しいと感じたなら、早稲田の日本史を解くためのポイントを知らなすぎたか、日本史を用語暗記だけですませてきたため、推測して解く能力を養っていなかったかのどちらかだろう。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
①	古代の政治	「適当なものがなければ6をマークせよ」とあるので消去法が使えないが、人間科学部の同様の問題とくらべて正誤判別がしやすいので、ほとんど難問はない。問Fは長岡京が「乙訓郡」にあったことを覚えていなくても、平安京が同じ山背国でも葛野郡にあったことを覚えていれば推測で解けた。	やや易
②	古代・中世の史料	一転して消去法を使って考える。とくに史料は未見史料なので、史料を読解してこれが何という事件のことを記したもののなのかを判別できなければならない。それができずに大きく失点してしまった人もいるだろう。	易
③	島原天草一揆	問E・Gのような問題は、独学の受験生は知識として単純暗記しようとするか、あるいは途方に暮れて放り出してしまいがちである。実際は知っていて解くのではなく推測して解く問題だった。逆に問Jこそ単純に覚えておいて解く問題である。もっとも選択肢のすべてを覚える必要はなく、あくまでも出題データに応じて捨てるのが効率の良い学習である。	やや易
④	幕末～明治時代の 正誤問題	問D・Fは難問。残りの問題はなぜ難問でないか疑問に思うかもしれないが、早稲田大をはじめ多数の大学の入試問題から受験日本史のポイントをつかんでいれば解ける問題だからである。単に教科書や用語集を使って学習しているだけでは難しい。	標準

番号	出題内容	コメント	難易度
5	近現代の労働者	正誤問題の誤文の中には ,かなり細かい部分が誤っているものが多い。しかし ,慎重に読んでいけばそれを見破ることは十分可能なレベルである。本年度の人間科学部の正誤問題とはそこが異なっている。問Gは「示唆した」と続くので「五大改革指令」では不正解かと思われる。	易
6	戦前の統制経済と戦後の高度成長	本学部の論述問題は指定語句が与えられていて ,かつ文字数が少ないため ,自分で推論しながら文章を組み立てれば正解できる可能性が十分ある。今回もそうであった。	易